



ポフラ

館林市立第二小学校 学校だより 第5号
令和8年6月10日 (TEL 72-4472)

かしこく
たくましく
心ゆたかに

学習支援ボランティア お世話になっています 書写指導



二小学区内にお住まいの平井さんが、3年生の書写の指導をしてくださっています。筆の持ち方や字のバランス等、専門的な視点でのきめ細かいご指導で、子どもたちも毎回楽しみにしています。習い事は、最初の基本が大切です。地域の専門的な方が学校教育にボランティアとして関わってくださることに感謝いたします。また、平井先生は、子どもたちが自分の名前を書く時の見本となるように、一人一人の名前を毛筆で書いて、見本として渡してくれています。平井先生の心の込もった見本を見ながら、心も字も整えてしっかりと学習していきたいと思ひます。



て渡してくれています。平井先生の心の込もった見本を見ながら、心も字も整えてしっかりと学習していきたいと思ひます。

補充学習

補充の時間、地域の方に学習支援ボランティアとしてお世話になっています。先日も、担任とともに、一人一人の子どもの取組を確認し、できたところをどんどん丸をつけたり、間違えているところを気付かせたりしていただきました。15分という短時間ではありますが、集中して取り組むことで基礎学力の定着に繋げていきたいと思ひます。



2年生「生活科 ぐんぐんそだて わたしの野さい」



2年生の生活科「ぐんぐんそだて わたしの野さい」では、植物を栽培し、成長の様子に関心をもって大切に育てる学習をします。5月14日(木)2校時にJA館林邑楽から3名の講師をお招きして、ミニトマト、茄子、ししとう、ピーマンの4種類の苗の特徴や、植え方、育て方を学びました。子どもたちは、毎日楽しそうに水やりをして、植物に親しみをもちながら大切に育てています。

授業の様子 紹介します 3年松組「算数」



6月3日(水)の3校時の授業の様子です。「時こくと時間」の授業でした。担任が日常の「時間」について想起させる発問をしていくと、子どもたちは「寝ているときは8時間」「鬼ごっこをする時間は10分間」と適した時間の単位について自然と意識していきました。そして、干支(ね・うし・とら…)の早口ゲームをするなかで、「1分より短い単位があるといいな」という児童の必要感から授業を進めていきました。1分=60秒ということを学び、「そういえば50m走を計るときに秒を使っていた!」と

納得する子どももいました。早速、干支の早口言葉を何秒で言えるか隣どうしで計ったり、クラス全体で「10秒経ったら起立」していくゲームで「秒」を感じ取ったりしていました。授業の振り返りに「1分より小さい秒を覚えられて嬉しかったから、自学でも、もっと覚えたいです」と振り返っている子どももいました。身体を使って「秒」を感覚的に捉えた学習となりました。



6年松組「算数」

6月3日(水)の2校時の授業の様子です。「分数のかけ算」の授業でした。授業の冒頭で「分数×分数」の計算の仕方(約分を忘れない、整数や帯分数は仮分数にする)ことを短時間に確認していました。そして今日の問題を提示し「小数と分数が混じった計算の仕方を考えよう」というめあてを子どもが設定しました。子どもは、「分数×分数」の計算はできるので、なんとかして小数を分数にすれば計算できるという見通しをもって挑戦していきました。ここで担任は、「0.1は何分のいくつか」数直線を用いて確認し、全員が解けるよう支援していました。隣どうしで考えを確認したり、挙手して考えを伝える場を確保したりして、子どもの発言やつぶやきを繋げて授業を進めていきました。「一生懸命考えて間違うのはよい」という学級のベースがあるため、授業中の担任と子どもの言葉の掛け合いがテンポよく、子どもたちも集中しながら伸び伸びと笑顔で授業に取り組んでいました。



ここで担任は、「0.1は何分のいくつか」数直線を用いて確認し、全員が解けるよう支援していました。隣どうしで考えを確認したり、挙手して考えを伝える場を確保したりして、子どもの発言やつぶやきを繋げて授業を進めていきました。「一生懸命考えて間違うのはよい」という学級のベースがあるため、授業中の担任と子どもの言葉の掛け合いがテンポよく、子どもたちも集中しながら伸び伸びと笑顔で授業に取り組んでいました。

挨拶運動(児童会本部)

第二小学校では児童会が中心となり、登校時に明るい挨拶でスタートできるよう挨拶運動に取り組んでいます。クラスで分担しながら、児童玄関前等で活動しています。『あかるく(い)つも(さ)きに(つ)づける』の意識を大切にしていきたいと思えます。6月8日(月)は児童会本部が担当しました。

